

●地域でまちづくりのルールを決めようということだが、路地の保全、交通、防災と多くのことが絡み、どこからどう始めればいいのか？

芹橋の路地を見ると、塀が道路境界に立ち、少し下がって建物が建ち、それらが連続して美しい景観になっている。足軽屋敷など重要な建物は現状のまま保存しなければいけないが、それ以外は、境界線に塀を立て、少し下がって建物を建て、庭の緑が路地から見える方式でルールが統一されると違和感がなくなる。

この景観ルールを彦根市の地区計画に位置付け、ルールに従



って耐震化・不燃化する建て替えであれば、建築基準法42条3項を適用して



認める仕組みをつくることは、十分考えられる。

また、電柱も屋敷の裏に移し裏側配線にすれば費用も少なく済む。同時に裏側で横方向の避難路を確保し、車回しや小規模な駐車場を整備してこれと結べば、交通と防災を兼ねた対策ができる。

こうした防災と交通と景観をセットにしたまちづくりルールを芹橋の小地域で合意できるか、それを行政と一緒に進めることができるかが、今後の大きなポイントになると思う。(終) (文責：堀部栄次)

2008年夏に向いの家が無くなったお陰で、眼前に素晴らしい景観が現れることになりました。

今は日々、この景観を愛でながら、「切通見附」という地名を定着させたいと密かに思っています。

(彦根景観フォーラム会員 松居敏彦)

## 自宅から彦根城を望む

私の好きな  
まちなかスポット

私の家は、江戸時代には「内町大通り」と呼ばれた城下のメインストリートに面しています。この道は、

城下と中山道の鳥居本宿・高宮宿を結ぶ「彦根道」でもあり、更に朝鮮通信使が通った「朝鮮人街道」でもあります。かつては家のすぐ左手を外堀が横切っていて、そこには「切通（きりとおし）口御門」がありましたので、この辺りは「切通見附」ということになります。

この歴史ある道が、現在進行中の道路拡幅計画により、昔の面影を失いつつあるのは残念なことです、



## 彦根景観フォーラム 入会のご案内

彦根景観フォーラムは、まちづくりを楽しむ NPO です。大学教員、建築家、会社員、商店主、公務員などが集まり、知恵と力を合わせて活動しています。年会費 6,000 円 詳しくは事務局まで。

- **ブログ** <http://hikonekeik.exblog.jp> (彦根景観フォーラムで検索)
- **定例会** 毎月第2水曜日 午後7時～9時 滋賀大学陵水会館 誰でも自由に参加できます。
- **お問合せ**：彦根景観フォーラム事務局 TEL 080-1416-5968 FAX 0749-27-1431  
E-mail: [hikonekeikan@hotmail.com](mailto:hikonekeikan@hotmail.com) まで



# きらっと彦根 vol. 24

彦根の魅力 ★ 再発見

彦根まちづくり誌 2011年 4月10日 通巻24号 編集/発行 NPO法人 彦根景観フォーラム

## ひこね街の駅「寺子屋力石」再興への歩み



### まちづくり結(ゆい)募金

2011年1月2日に出火・焼失した「ひこね街の駅・寺子屋力石」。その再興をめざして、彦根景観フォーラムは、再興実行委員会に参加し、資金100万円を拠出しました。

その後、多くの皆様から「結(ゆい)」募金をお寄せいただきました。募金額は4月8日現在で、2,654,587円に達しました。

寺子屋力石は、4月16日に第1期対策が完了します。瓦を降ろし屋根にコンパネを張りシートを固定しました。裏側に柱を建て、壁を作りました。今後、瓦を乗せるには屋根の母屋や束の取り替え、壁

の塗り替えなどが必要です。

引き続き、皆様の暖かいご支援・ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



応援ソング「前へ、前へ」のCifaさん  
チャリティCD・戦国丸にて発売中

### それぞれの彦根物語・再生の物語

●彦根物語 80 4月16日 10:30~12:00  
「大橋利左衛門 荒神山に木々を再び」

寺村 二三夫(元高校教師)さん

現在の荒神山は、緑豊かな木々に覆われていますが、歴史の中では、幾度となく禿山になっていました。江戸時代以降の荒神山をめぐる争いと地域の人たちの取り組みを紹介します。



### 辻番所の再生

旧芹橋12丁目の辻番所の修理・保存工事が行われています。

お振込先：ゆうちょ銀行 彦根河原郵便局  
口座名：「まちづくり結募金」  
郵便局からの場合、口座 14620-22294441  
その他からの場合、店番 468-2229444

特集：彦根景観シンポジウム2010

彦根・芹橋のまちづくりを考える(2)

路地がひらく未来の芹橋

- 大窪健之・立命館大学教授
- 西村幸夫・東京大学大学院教授
- 青木仁・滋賀大学客員研究員

● 山崎一真・理事長  
自宅から彦根城を望む

松居敏彦